

# 相談事例

ID : 02-02-020

## 相談タイトル

雨樋工事のトラブルについて

### Q：ご相談内容

仲介人の手配で、リフォーム業者と雨樋工事の契約をした。雨樋交換工事を発注したところ見積金額が80万円だったが50万円しか出せないため、交渉し手付金50万円を支払い工事を依頼した。最終的に確認したところ雨樋交換工事ではなく雨樋補修工事で済まされていたため「この内容は50万円の工事ではない。半額の25万円を返してほしい。」と社長に話したところ25万円返金すると言っていたが、一向に返金する気がない。早く返金してほしいと思っているがどうしたらよいか。

### A：回答

返金の交渉を行うにあたって、実際に施工した雨樋補修工事が、どの程度の費用がかかるものなのかを押さえておくことが必要と思いますので、同内容の工事をした場合に別の業者ではどのくらいの費用がかかるのか見積を取っておくことは重要と考えます。

実際の交渉に当たっては、単に口頭でのやりとりでなく、約束したことを書面で残しお互いに確認し合うなど、文書として残すことが必要と思います。また約束を履行させるために手段としては、期限を切った催促の書類を内容証明郵便等で、記録が残るような形で送るなど相談者の方の実施した行為が記録として残るよう配慮して下さい。

相手の方が一向に対応の動きがないようでしたら、法的な対応方法について弁護士等に相談をしていただくことが良いと考えます。